

令和8年5月8日

富山県生物学会 理事会議事録

開催日：令和8年5月7日

開催方法：オンライン（Zoom）

参加理事：稲村、福田、村井、松村、氷見、高橋、不破

議事録作成：不破

議事内容

1. 会費および予算運用について

会費についての協議

- ・会誌のPDF化により印刷・発送コストの削減が見込まれるため、わずかながら余剰金が発生。会費2,000円の案もあったが、今年度の会費は3,000円（学生1,000円）を維持で運用したい。
- ・会費の受取について、現金受取は総会時のみとし、原則振込としたい。通帳で履歴確認でき、事務局の「現金管理⇒振込」業務を簡素化のため。
- ・RDB業務予算および余剰金の活用案について、調査協力者への謝金支払い案もあったが、今後のHP管理や過去の会誌のPDF化による有料費用や、事務局運営費等への費用を優先したい。

○決定事項

- ・今年度は会費3,000円（学生1,000円）を維持。
- ・会費は原則振込。現金は総会時のみ可とする。
- ・PDF化の費用やレッドデータ関連委託費等の予算の状況を見ながら、来年度以降の活用方法を検討する。

2. 「富山の生物」PDF化・公開方法について

- ・「富山の生物」をPDF化し、J-STAGEへ掲載する方向で進行中。
- ・会員限定公開期間を設け会費を支払う意義を維持する必要があるとあり、他学会同様、一定期間（例えば2年間）は会員限定公開とし、その後一般公開する方式が望ましい。技術的には可能。

○検討事項

- ・会員限定公開にするための追加費用が発生する可能性有。⇒RDB予算、PDF化の余剰金等で対応可。
- ・バックナンバー（創刊号含む）の電子化方法も併せて検討。J-STAGE掲載には、著者情報、ページ情報、論文情報整理が必要。長期的には学会資産保全として重要であり、予算活用も考慮して進める。

※HP担当（高橋）・編集担当（岩田）・事務局（不破）で、総会までに詳細を協議。

3. レッドデータ関連調査業務について（2年目）

- ・小河川調査データを県自然保護課へ提供。提供データは一般公開せず、開発案件等の説明資料として使用される予定。データ収集の目的は10年後のレッドリスト更新に活用。

- ・個人収集データ提供について、会員個人の調査データ提供も一部実施した。情報公開範囲には慎重な対応が必要なので、総会では今回の報告の概要を公開。⇒資料作成は事務局
- ・これまでは、昆虫分野の調査は小河川調査で扱っておらず、今後、昆虫担当（岩田）を中心に検討が必要。

4. 事務局体制について

- ・事務局は現在（令和 8 年度）魚津水族館内だが、事務担当（不破）の異動等により、今後の運営方法を検討する必要が生じている。
- ・主な議論として、水族館継続案、個人宅運営案、他機関への移館案など。
- ・現在は事務的業務量が以前より簡素化（入退会管理・会計・監査対応・会議調整が主業務）。
- ・個人運営の場合は経費補助も検討。⇒RDB 予算、PDF 化の余剰金等で対応可。

○決定事項

- ・令和 8 年度は魚津水族館内に事務局を継続。
- ・来年度以降については検討。

5. 総会資料の確認について

○確認事項

- ・監査報告は完了しており総会で提出。役員案は現状大きな変更なし。

○資料の修正点

- ・日程修正 ⇒有峰観察会：8 月 30 日（日）
- ・「富山の生物 66 号」PDF 発行予定 ⇒令和 9 年 3 月へ修正
- ・「富山の小河川流域の生き物 2」へ名称修正

6. その他

○会長任期（3 年間）が今年度で終了するので検討が必要。

○役員体制について

- ・役員の参加状況に課題がある。出欠連絡等、基本的な協力体制を求める。今後、必要に応じ役員体制見直しを検討。秋頃に再度、理事会開催予定。

今後の主な対応事項

項目・(担当)

J-STAGE 公開方法協議およびバックナンバー電子化検討・(高橋・岩田・不破)

事務局体制検討・(会長・理事)

総会資料修正・(不破)

和田川流域資料データ送付・(松村)

以上